

「につぽん農紀行〜ふるさとに生きる〜」 北海道編（完成稿）

●アバン

○凍てついた空間に生える
一本の木

T 釧路市鶴居村

○鶴の中ロング

○歩くキタキツネ

○寒さに丸まる鶴

○鶴たちのロング

○根室湾

○流水

○海と流水のロング

○黒みへフェードアウト

○春の畑から煙が上がって
いる

○蠢くトラクター

○トラクターロングにタイ
トル

凍てつく風が吹き抜ける北海道の冬。

人々がよく口にする言葉を借りれば
まさに「しばれる寒さ」。

一面を覆い尽くす白い絨毯。
じゅうたん

この日、オホーツク海から流れ込んだ
流水が、根室の海に接岸していました。

雪と氷に閉ざされた真冬の北海道。

厳しい自然の姿がそこにはあります。

雪解けを迎え、あたりがあたたかな光を
取り戻すころ。

厳しい自然に閉ざされていた人々の
営みもまたはじまっていくのです。

メインタイトル

ふるさとに生きる

北海道編

北の大地、いのちの営み